

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年9月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東洋建設株式会社
所在地	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 武澤恭司
担当者連絡先	電話：03-6361-5462
	メール：saito-tadasuke@toyo-const.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.toyo-const.co.jp/csr

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和4年に創業した総合建設業者であり、港湾工事、浚渫・埋立工事等の請負事業を営んでいる。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用や作業船の使用燃料転換、油圧駆動の部分電動化等により、完成工事高1億円当たりのCO2排出量を削減する。	【目標】2013年度比45%削減 陸上土木 48.1t-CO2/億円以下 海上土木 47.5t-CO2/億円以下 建築 10.7t-CO2/億円以下
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、生産性向上施策の実施により、時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 【現状】平均48.5時間/月、582時間/年 【目標】上限45.0時間/月、360時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の実施件数 【目標】10件以上

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・当社の行動規範、行動指針に基づきコンプライアンスマニュアルにも人権尊重・差別禁止を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携帯させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。 ・法務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・職場におけるハラスメントの防止規程を定めている。 ・通報窓口は、法務部長または社外に設置した通報窓口(顧問弁護士)としている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・適正な工期による契約の締結。 ・時短を促す意識改革と制度の導入。 ・DXによる生産性向上施策の実施。									8.5 8.8								
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・当社の行動規範、行動指針に基づきコンプライアンスマニュアルにも人権尊重・差別禁止を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携帯させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。 ・法務部長を相談窓口としている。				4.4					8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001労働安全衛生マネジメントシステムの認定を取得している。 ・役職員向けの安全衛生教育を実施し、周知徹底を図っている。			3						8								
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・こころの健康づくり等に取り組み、ヘルスアップチャレンジ表彰を受賞。 ・ストレスチェック制度の導入。 ・メンタル産業医の設置。			3														
	7 【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・「えるぼし認定(星2つ)」を受けている。 ・ダイバーシティ研修を実施している。 ・障害者雇用率は、法定雇用率2.2%に対し令和2年6月現在2.55%。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	8 【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・雇用時や昇進時に職務や役職に応じた外部研修を含めた教育訓練を実施している。 ・取得推奨資格制度により資格取得費用を全額支給している。				4	5.5				8	9							
	9 【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・定年時再雇用制度の改定により同一労働における格差を是正した。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	10 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康事業所宣言証明書を受領し、ヘルスアップチャレンジの表彰を受けた。			3						8								
環境	11 【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・環境マネジメントシステムを導入し、毎年環境基本計画に建設副産物の3Rを推進している。										11.6	12.4 12.5	14.1					
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・事務所の電気使用量と毎年30現場の使用船舶・重機等の燃料使用量を集計。年度ごとに削減目標を設定するとともに、優良事例の全社展開を進めている。								7.3				13					

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
名称： 東洋建設株式会社
代表者： 代表取締役社長 大林東壽
登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用や作業船の使用燃料転換、油圧駆動の部分電動化等により、完成工事高1億円当たりのCO2排出量を削減する。	【目標】 2013年度比45%削減 陸上土木 48.1t-CO2/億円以下 海上土木 47.5t-CO2/億円以下 建築 10.7t-CO2/億円以下	【実績】 陸上：47.6t-CO2 (▲45.7%) 海上：60.3t-CO2 (▲30.2%) 建築：11.4t-CO2 (▲41.5%)
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、生産性向上施策の実施により、時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 【目標】 上限 45.0 時間/月 上限 360 時間/年	【実績】 平均 34 時間/月 平均 410 時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の実施件数 【目標】 10 件以上	【実績】 6 件